

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラー 目次。



| | |
|---|-----------|
| 1. ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラー: | |
| 概要。 | 2 |
| 2. コンセプト: | |
| アーバン・モビリティに相応しいコンパクト・モデル。 | 6 |
| 3. デザイン: | |
| ひと目でわかる BMW の証明。 | 7 |
| 4. パワートレイン: | |
| 新しいエンジン・ファミリーで比類ない効率性と駆けぬける歓びを提供。 | 11 |
| 5. サスペンション: | |
| 快適性と運動性能を高いレベルで両立。 | 16 |
| 6. BMW EfficientDynamics: | |
| より少ない燃費および排気ガスで より大きなパワーを実現。 | 20 |
| 7. BMW コネクテッド・ドライブ: | |
| 優れた安全性、快適性を高めるネットワーク。 | 21 |
| 8. BMW 純正アクセサリ: | |
| 実用的で安全、機能的。 | 26 |
| 9. 主要諸元。 | 29 |

1. ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラー： 概要。



BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、BMW ならではの高い運動性能、スタイルの良さ、エレガントな外観に、快適性が高く使い勝手の良いスペースを融合させたプレミアム・コンパクト・クラスのモデルです。全長 4,342 mm、全幅 1,800 mm、全高 1,555 mm のコンパクトなサイズながらひとクラス上の居住性を提供する BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、都市部のモビリティに対するますます高いニーズに応えるモデルです。

新開発の 3 気筒または 4 気筒のターボ・エンジン、充実した BMW EfficientDynamics テクノロジー・パッケージ、BMW コネクテッド・ドライブを通じた高度なネットワークを備えたこのモデルは、スポーティなパフォーマンスと優れた効率性を兼ね備えたドライビング・エクスペリエンスを提供します。

運動性能と使い勝手の良いスペースを BMW ならではの伝統のスタイルで表現。

プレミアム・コンパクト・クラスのクルマに対する室内スペースの広さや使い勝手の良さ、機能性に関する高いレベルのニーズを満たすために、BMW は熟慮の末、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーに最新の前輪駆動方式を採用。その上で BMW ブランドのクルマに求められる活気ある走りに対する要求にも配慮しました。また 2,670 mm というロング・ホイールベースと高い位置を走るルーフ・ラインを活かした室内のスペースを適切に利用することで、このクラスではこれまで考えられなかったレベルの快適な居住性を実現しました。運転席と助手席の着座位置はセダンに比べやや高く、周囲を見渡す抜群の視界が得られるだけでなく、乗り降りも楽になります。各部に設けた収納部やオプションの可倒式助手席バックレストにより、高度の柔軟性と考え抜かれたルーム・コンセプトを提供します。広々として軽快な印象を与えるインテリアは、すべてのサーフェスが水平方向にレイアウトされ、それぞれがいくつかのレイヤーに視覚的に分けられています。オプションの大きなパノラマ・ガラスルーフを装備すると、室内はさらに明るい光で満たされます。

BMW の証でもある運動性能は、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーでも健在です。例えばフロント・エンドは、BMW 特有のやや前傾したキドニー・グリルと特徴的な 4 灯式丸型ヘッドライトが配されています。さらに前輪駆動として例のないほど短いフロント・オーバーハング、BMW の伝統的特徴であるリヤのショート・オーバーハング、ロング・ホイールベース、リヤ・サイド・ウインドウのホフマイスター・キンク、L 字型テール・ライトなども、このモデルの運動性能の高さをアピールしています。サイド・ビューでは、精密なショルダー・ラインとくっきりとしたプレス・ラインがホイール・ハウスをひき立て、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの優れた加速性能を予感させます。インテリアに目を転じると、オーディオやエア・コンディショナー、エア・ベントの操作エレメントはドライバー方向にわずかに傾けられて配置されていることがわかります。こうしたドライバー・オリエンテッドな配置も BMW の特徴です。

優れた多用途性と高い機能性。

容量を 468 リッター～1,510 リッターの範囲で調整できる使い勝手の良い可変式ラゲージ・ルームと、40:20:40 分割可倒式の後席バックレストが、このクルマの日常の足としての利便性を物語っています。前後調整可能なリヤ・シートもこうした特性に貢献しており、必要に応じて足元のスペースを、あるいはラゲージ・ルームの容量を拡大することができます。さらに、ラゲージ・フロアにもちょっとした工夫が盛り込まれています。折り畳み式のラゲージ・フロアを開けると、実用的な持ち運び可能な多目的収納ボックスが現れます。またオプションのバックレスト調節機能を装備すればリヤ・シートのバックレスト角度を調節でき、快適な 3 人掛けシートとして使うか、あるいはラゲージ・スペースを拡大するか、といった使い方もできます。テール・ゲートは開口部が大きく幅も広いので、ラゲージ・ルームへのアクセスは容易です。テール・ゲートには、ワンタッチで作動するオートマチック・テール・ゲート機能、さらに足先の動きでテール・ゲートを開けることのできるスマート・オープナー機能をオプション設定しています。

最新世代の 3 気筒または 4 気筒エンジン。

市場導入時点で BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーには、パワフルで軽量、低燃費を誇る最新世代の 3 気筒エンジンまたは 4 気筒エンジンが合計 3 機種用意されます。この驚くほどコンパクトな構造の横置きエンジンは、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを装備し、EU6 排ガス基準をクリアしています。

新型 3 気筒ガソリン・エンジンは、極めて効率的で、かつ高性能です。このエンジンは BMW コア・ブランドのモデルとしては初めて、BMW 218i アクティブ・ツアラーに 6 速マニュアル・トランスミッションと組み合わせられて搭載します（複合モード燃費：5.2～4.9 リッター/100km、CO₂ 排出量（複合モード）：120～115g/km）*。

排気量 1.5 リッターで出力 100 kW[136 ps]を発生するこのエンジンは、ドライバーのアクセル操作に瞬時に反応し、胸のすく吹き上がり大きなトルクを発生します。3 気筒エンジンは、構造上の理由から一次、二次の慣性モーメントが発生しません。原理的に滑らかな作動特性を保証できるこのエンジンには、さらに全回転域にわたって一段と滑らかな作動を実現するためバランス・シャフトを装備しています。

市場導入時点のトップ・モデルは、8 速ステップトロニック・トランスミッションを標準装備した BMW 225i アクティブ・ツアラーです（複合モード燃費：6.0～5.8 リッター/100km、CO₂ 排出量（複合モード）：139～135g/km）*。最高出力 170 kW[231 ps]の 4 気筒エンジンを搭載し、発進から時速 100 km までの加速時間は 6.6 秒、最高速度は 240 km/h というトップクラスの運動性能で新たな基準を確立します。

BMW 218d アクティブ・ツアラー（複合モード燃費：4.3～4.1 リッター/100km、CO₂ 排出量（複合モード）：114～109g/km）*は、出力 110 kW[150 ps]の 4 気筒ディーゼル・エンジンを搭載しています。2 つのガソリン・エンジンと同様に、このエンジンも新世代ユニットに属し、最大トルク 330 Nm を発生します。BMW のディーゼル・エンジン特有の並外れたダイナミックな特性は、このパワー・ユニットにも受け継がれています。

* 燃費値は ECE テスト・サイクルに基づき算出（装着するタイヤによって変化します）。

BMW 218d アクティブ・ツアラーは 6 速マニュアル・トランスミッションを標準装備し、時速 100 km までを 8.9 秒で加速し、最高速度は 208 km/h に達します。このモデル・バリエーションにはオプションで 8 速ステップトロニック・トランスミッションが用意されています。

BMW の前輪駆動モデル。

BMW の他のモデルがそうであるように、ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーも、素晴らしいドライビング・ダイナミクスと BMW 特有の走りを提供します。新開発のサスペンションはフロントにシングル・ジョイント・スプリング・ストラット・アクスルを、リヤにマルチ・リンク・アクスルを採用し、俊敏で正確なハンドリング、高い走行安定性と優れた乗り心地をいずれも高いレベルで成立させています。広範囲にわたって精密にセットアップが施されたフロント・ドライブ・アクスルは、考えられる限りの最高のドライビング・ダイナミクスと、比類ない正確なステアリング・フィードバックを保証し、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーに上質な走りをもたらします。また電動パワー・ステアリングと機能的なシステム・レイアウトにより、トルク・ステアの影響を受けない走行フィーリングが得られます。

BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは高張力鋼、超高張力多層鋼を適所に使用し、安全性を向上させながら、軽量化も実現しています。このライトウエイト構造は、運動性能を向上するだけでなく、オート・スタート・ストップ機能、ブレーキ・エネルギー回生システム、シフト・ポイント・インジケーター、オンデマンド制御の補機類、バンパー左右の 2 つのスリット型エア・インテークからのエアをフロント・ホイール周りに導くエア・カーテンと共に BMW EfficientDynamics テクノロジーの要素としても寄与しています。

5 種類のモデル・バリエーションでお客様の個性を反映。

BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーには、基本仕様のほかに 4 種類のモデル・バリエーションが用意され、インテリアとエクステリア、そして個別の装備面で、お客様のご要望に広範に応えることができます。BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの標準装備品は、ラジオ・プロフェッショナル、Bluetooth 付きハンズフリー・テレフォン・システム、センター・コンソール上のコントローラーと 6.5 インチ・コントロール・ディスプレイがセットになった BMW iDrive 操作システム、オートマチック・ヘッドライト機能付きレイン・センサー、スポーツ・レザー・ステアリング・ホイール、インテリジェント・エマージェンシー・コール・システム、前車接近警告（衝突回避・被害軽減ブレーキング付き）が標準装備されます。また、Advantage、Sport、Luxury といったモデル・バリエーションには、これに加えて 2 ゾーン・オートマチック・エア・コンディショナー、リヤ・パーク・ディスタンス・コントロール、フロント・フォグライト、ブレーキング機能付きクルーズ・コントロール、マルチファンクション・ステアリング・ホイールが装備されます。

デザイン・ラインの Sport モデルには、ライト・アロイ・ホイールとスポーツ・シートが追加装備され、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのダイナミックなキャラクターを一段と強調します。フロント・エンドでは、ハイグロス・ブラック仕上げのキドニー・グリル・バー、専用デザインのエア・インテーク、そしてリヤ・エプロンのアクセント・ストライプが存在感を引き立てます。これに合わせて、エグゾースト・テール・パイプがブラック・クローム・メッキ仕上げとなります。

デザイン・ラインの Luxury モデルの特長は、優美さと高級感です。エクステリアの上品なクローム・トリムが最初に目を引き、ドアを開けると最高級のレザーが待ち受けています。運転席と助手席のレザー・シートはヒーター付きです。

2014 年の終わり頃には、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーに M Sport モデルが仲間入ります。このモデルには、M エアロ・ダイナミック・パッケージ、ハイグロス・シャドー・ライン・トリム、M スポーツ・サスペンション、17 インチまたは 18 インチの M ライト・アロイ・ホイール、そしてインテリアには M レザー・ステアリング・ホイールと専用クッションを採用したスポーツ・シートが装備され、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラー M Sport の存在感をひときわ引き立てます。これと時を同じくして、インテリジェント四輪駆動システム xDrive を搭載したモデルもデビューします。BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの発売時期は、ドイツ国内が 2014 年 9 月 27 日で、価格は 2 万 7,200 ユーロからとなります。

* 燃費値は ECE テスト・サイクルに基づき算出(装着するタイヤによって変化します)。

豊富なネットワーク機能で安全性と快適性を向上。

BMW コネクテッド・ドライブによるアシスタント・システムとインフォテインメント機能が、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの安全性と快適性を向上します。例えば、モノカメラ・ベースのトラフィック・ジャム・アシスタンスは、高速道路の渋滞のような単調な交通状況で、ドライバーの負担を軽減します。車速 60 km/h 以下で多くのクルマが密集して走行する場合、「前車追従走行」をシステムが引き受け、ドライバーは渋滞区間をリラックスして通過することができます。システムはドライバーが事前に設定した前走車との車間距離を維持するだけでなく、停止するまでのブレーキングを自動で行い、積極的にステアリング操作も補助します。その場合は、ドライバーがステアリング・ホイールに少なくとも片手を置いていれば、車線から外れないようにステアリングを自動で操舵します。

BMW コネクテッド・ドライブのサービス&アプリにより、スマートフォンと車両を統合できるようになるほか、コンシェルジュ・サービスやリアルタイム・トラフィック・インフォメーションなども利用できるようになります。これらのサービスは、車両を購入した後からでも加入できるほか、契約期間も柔軟に設定できます。そのため、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの機能やサービス内容を、いつでも拡張したりアップデートしたりできます。

BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーには、プレミアム・コンパクト・クラスで初めてヘッドアップ・ディスプレイが提供されます。このシステムは、走行に関するすべての重要な情報を、ドライバーの視野内にフルカラーで投影します。表示方法は、フロント・ウインドウに直接投影するのではなく、ステアリング・ホイールとフロント・ウインドウの間に昇降式スクリーンを設けています。ドライバーは前方の路面から視線を移動することなく、重要な情報をすべて把握できます。

ニュー・モデルに関する公式な燃料消費量と CO2 排出量、電力消費量に関する詳しい情報については、正規ディーラーおよび DAT (Deutsche Automobil Treuhand GmbH, Hellmuth-Hirth-Str. 1, 73760 Ostfildern-Scharnhausen, Germany、および同社ウェブサイト: <http://www.dat.de/angebote/verlagsprodukte/leitfaden-kraftstoffverbrauch.html>) から無料で入手可能な「新車の燃料消費量と CO2 排出量および電力消費量についてのガイドライン」に掲載されています (LeitfadenCO₂: PDF – 2.7 MB)。



2. コンセプト: アーバン・モビリティに相応しい コンパクト・モデル。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、プレミアム・コンパクト・クラスで初めて、快適で高い機能性を備えたゆとりあるスペースと、BMW 特有のドライビング・ダイナミクスを統合させたモデルです。全長はわずか 4,342 mm というサイズでも、とりわけ後席は通常ならより上位のセグメントに属するクルマで期待されるレベルの広いニー・ルームを確保しています。BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは他に類を見ない総合コンセプトにより、新しい車両カテゴリーを確立し、同時にコンパクト・クラスの頂点に立つモデルです。

このようなユニークな製品特性を持つ BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、常にたくさんのスポーツ・ギヤを携えてアクティブに活動し、そのためにできるだけ大きく、柔軟に利用でき、たくさんの収容力を持つスペースを備え、なおかつコンパクトなクルマを望む人にとって理想的なクルマです。さらにニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、ライフスタイルに自信を持ち、スポーツを愛し、そのための実用的で自在な可変性を持つクルマを望むヤング・ファミリーにとっても魅力的なクルマに仕上がっています。

インテリアのスペースを最大に利用できる前輪駆動コンセプト。

プレミアム・コンパクト・クラスのクルマでありながら、広く柔軟に活用できるインテリア・スペースを持つニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、最新の前輪駆動コンセプトを採用しています。このコンセプトと、高いルーフ・ライン、ロング・ホイールベース、フロントに横置き搭載されたエンジンの組み合わせによって室内レイアウトに最大の自由度が得られ、利用可能なスペースも最大化できます。乗員の着座位置はやや高めの、いわゆるセミコマンド・ポジションとなり、混雑する交通状況にあっても良好な視界が得られます。またヘッドルームにゆとりがあるため、乗降性も良好です。

前席と後席の各部に用意された収納部やオプションで提供されるワンタッチ操作やジェスチャー操作が可能なオートマチック・テール・ゲートなど、機能面でも細部にわたり配慮されており、高いレベルの快適性を提供します。またリヤ・コンパートメントでは、折りたたみ可能なラゲージ・フロアがさらなる柔軟性を提供し、ラゲージ・フロアを開けるとその下には実用的な多目的収納ボックスがあります。40:20:40 分割可倒式の後席バックレストを前に倒すと、ラゲージ・フロアはほぼフラットになります。さらに助手席バックレストまで倒すと、最大 2.40 メートルの長さの荷物やスポーツ用具を車内に積み込むことができます。また使い勝手の良さを考えた実用的な装備として、ラゲージ・ルームに荷物固定用フックと多目的バッグ・フックが、左右にそれぞれ 1 つずつ装備されています。

3. デザイン： ひと目でわかる BMW の証明。



ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、極めてコンパクトなサイズに自在な可変性と実用性、それに比類ないダイナミックなデザインをひとまとめにしたモデルであり、その姿はどの角度から見てもスポーティでエレガントです。ロング・ホイールベース、フロントおよびリアのショート・オーバーハングをベースに巧みにバランスされたプロポーションは、BMW ならではの独特のシルエットとなっています。力強いデザインのボンネットとやや前傾したキドニー・グリルからは、静止した状態であっても突き進もうとする意思を感じさせ、さらに大きく傾斜したDピラーがその印象を後押ししています。

フロント・ビューでは、フラットなデザインのキドニー・グリルが強く印象に残ります。キドニー・グリルはヘッドライトよりも低い位置に配置されており、それがこのクルマのダイナミックなキャラクターを強調しています。このような特徴を持つのは、このモデル以外では BMW クーペだけです。大きく寝かされたフロント・ウィンドウと、くっきりとした輪郭で造形されたボンネットが、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーを低く、スポーティでワイドに見せています。

丸型 4 灯式ヘッドライトにオプションで高効率バイ LED 仕様を設定。

片側 2 灯式の丸型ヘッドライトには、上部に LED デイ・ランニング・ライトが埋め込まれ、路面を見つめる強い眼差しのような印象をもたらします。オプション装備品として、ロー・ビームとハイ・ビームの両方に省電力 LED を使用したバイ LED ヘッドライトを用意しています。このバイ LED ヘッドライトの明るさは、LED デイ・ランニング・ライト・リング付きのキセノン・ヘッドライト・システムと同レベルですが、消費電力はその約半分です。さらに LED コーナリング・ライトが装備されており、右左折時や車速 40～70 km/h でのコーナリング時に固定式コーナリング・ライトが点灯し、横方向を明るく照らします。この最新の片側 2 灯式丸型ヘッドライト・ユニットは、その下に配置された大きなエア・インテークとの相乗効果で力強い表情をフロント・ビューに与えます。

サイド・ビューでは、伸びやかで流麗なシルエットと控えめなウェッジ・シェイプのフォルムが、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーに独特の躍動感を与えています。サイド・パネルに描かれる目をひく 2 つのラインが、リアに向けて穏やかに上昇するウェッジ・シェイプのフォルムと、BMW ならではのホフマイスター・キンクに向けて躍動し、ゆるやかに下降するリア・サイド・ウィンドウ・グラフィックに対するバランスを取る役割を果たしています。そして高い位置を走るルーフ・ライン、大きなドア、長いホイールベースが、車外からでもインテリアの広々とした空間を予感させます。

BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのリア・ビューは幅広さを強調し、後ろから見てもスポーティでダイナミックなキャラクターがはっきりと伝わってきます。BMW 特有の L 字型テール・ライト(オプションでワイドな LED テール・ライトも用意)は、ボディ幅いっぱいに外側に配置され、ボディ・サイドとリア・エンドをバランスよく結び付けると同時に見る人の視線をホイール・アーチへと誘い、安定感のあるスタンスを強調します。ローディング・エッジが低く、開口部が広いテール・ゲートが、ラゲージ・ルームのアクセスを容易にしています。

リヤ・ウインドウの両脇に縦に配置されたウインド・ディフレクター・エレメントのエアロ・ブレードと上部のリヤ・スポイラーが、モダンな美しさをひき立てています。リヤ・ウインドウ・ワイパーは、リヤ・エンドのデザインの妨げとならないよう、使用していないときは外から見えないようにリヤ・スポイラー内に格納されます。

インテリア:明るく、軽快で、スポーティかつ機能的。

インテリアは明るく、驚くほど広々とした印象です。全長 4,342 mm、全幅 1,800 mm、全高 1,555 mm というコンパクトなサイズでありながら 5 人がくつろいで座れるスペースが確保され、大きなウインドウによって車内は明るい光で満たされます。この明るさに寄与するのがオプションのパノラマ・ガラスルーフと A ピラーのトライアングル・ウインドウで、これらが全周囲にわたる視界の改善にも貢献しています。ダッシュボードからドア・パネルを含む水平配置のレイヤー構造は、インテリアにエレガントで軽快な雰囲気を与え、同時にスペースの広がり強調します。また BMW 特有のドライバー・オリエンテッドなコックピットが、ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのスポーティな魅力を強調します。

インテリアの高級感を一段と盛り上げるのが、自立型デザインでハイテクなイメージを放つセントラル・インフォメーション・ディスプレイ(オプション)で、ドライバーの視野内の最適な位置に配置されています。ダッシュボードにはアクセント・トリム付きの大きなインテリア・トリム・パネルやクローム・エレメントが配置され、プレミアムな魅力を醸し出しています。このデザイン・テーマは、センター・コンソールとドアにも受け継がれています。

センター・コンソールとダッシュボードはひと目でわかるほど視覚的にはっきりと分けられており、ダッシュボードが宙に浮いているような印象をもたらします。センター・コンソールには、エア・コンディショナー・システムの操作エレメントの他に、今回初めてひととき目をひくクローム仕上げのドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチが配置されました。

すっきりとしたエレガントなデザイン、コンパクトなサイズにもかかわらず、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーには数多くの収納部が用意されており、スペースを無駄なく活用することができます。センター・コンソール前方にリッド付き収納ボックス、ドアにボトル・ホルダー(1.5 リッター容器まで収納可能)、センター・コンソールに配置されたカップ・ホルダー、センター・アームレスト内とその下の収納ボックスなど、スペースを活用するための細やかな工夫を随所に見ることができます。

個性を演出:5 つのモデル・バリエーション。

最高級の素材と上質な仕上げが、ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのプレミアムな雰囲気をひき立てます。内装材、装備レベル、カラーのすべてに豊富なバリエーションを用意し、多様な組み合わせを実現できます。BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーには、基本仕様のほかに、それぞれ個性的な装備品を備えた Advantage、Sport、Luxury といったモデル・バリエーションが用意されます。市場導入時点のモデル・バリエーションはこの 4 種類です。さらに 11 月以降に M Sport が加わり、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのインテリアとエクステリアにこの上なく個性的なアクセントを効かせることができるようになります。

センター・コンソール上のコントローラーと 6.5 インチ・コントロール・ディスプレイをセットにした iDrive 操作システムやスポーツ・レザー・ステアリング・ホイールなど、プレミアムな装備品が標準装備されます。またラジオ・プロフェッショナルと Bluetooth インターフェース付きハンズフリー・テレフォン・システムも、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの全モデルに標準装備されます。より高いレベルの安全性を保证する装備品として、前車接近警告(シティ・ブレーキング機能付き)、オートマチック・ヘッドライト機能付きレイン・センサー、そして非常時に車載の SIM カードを通じて自動、または手動で救助を要請できるインテリジェント・エマージェンシー・コールがあります。

Advantage: 快適性を重視したキャラクター。

Advantage モデルは、快適性と安全性の面でさらなるアクセントを提供します。2 ゾーン・オートマチック・エア・コンディショナー、ブレーキング機能付きクルーズ・コントロール、マルチファンクション・ステアリング・ホイール、フロント・フォグライト、リヤ・パーク・ディスタンス・コントロールなどの特別装備品を備えています。

Sport: 躍動感あふれるイメージ。

Sport モデルは Advantage の装備に加え、ハイグロス・ブラック仕上げが目目をひくアクセントになって、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのダイナミックな外観を強調します。フロントにはハイグロス・ブラック仕上げのキドニー・グリル・バーのほか、専用デザインのエア・インテーク、リヤ・エプロンのアクセント・ストリップが存在感を強調します。これに合わせたブラック・クローム仕上げのエグゾースト・テール・パイプと 16 インチまたは 17 インチの専用ライト・アロイ・ホイールが、スポーティな外観を一段と引き立てます。インテリアでも、ダッシュボードとドアのトリム・ストリップがハイグロス・ブラック仕上げとなり、室内に印象的なアクセントを加えます。スポーツ・シートは専用のファブリックに鮮やかなコントラスト・カラーのステッチを組み合わせるか、または Sport 専用レザー仕様を選べます。このほか、クローム・トリム付きのグローブ・ボックス、レッドのコントラスト・ステッチが施されたダッシュボードのほか、レザー・ステアリング・ホイールと車両キーのメタル・インサートがアクセントとなっています。

Luxury: BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのエlegantを強調。

Luxury モデルは、エクステリアに装着されたクローム・トリム・ストリップが醸し出すエレガントな雰囲気が印象的です。キドニー・グリルと専用デザインのエア・インテーク、エグゾースト・テール・パイプのほか、リヤ・エプロンにもハイグロス・クローム仕上げのアクセントがあしらわれます。さらに専用 16 インチまたは 17 インチ・ライト・アロイ・ホイールが、高級感をさらに引き立てます。インテリアでは、クローム・アクセントやダッシュボードのコントラスト・ハイライト仕上げ、レザー・ステアリング・ホイールと専用シート素材などが、Luxury パッケージのエlegantな雰囲気をさりげなく強調しています。このほかの装備品は、Advantage と同じです。

M Sport: 最高の存在感。

今秋 11 月から提供される M Sport は、見間違えようのない個性的なルックスとこの上ない存在感をもたらします。このモデルには、M エアロ・ダイナミクス・パッケージ(フロント、リヤおよびサイドの専用エアロ・パーツを含む)、ハイグロス・ブラック仕上げのキドニー・グリル、車高を 10 ミリ下げ、運動性能をさらに向上させる M スポーツ・サスペンションが含まれます。

またこのクルマをさらに上質に仕上げる小道具として、17 インチまたは 18 インチの専用 M ホイール、BMW Individual によるハイグロス・シャドー・ラインのウインドウ・モールディング、M Sport 専用のエストリル・ブルー塗装が用意されます。さらにサイド・パネルを飾る「M」のエンブレム、専用デザインのブレーキ・システム、クローム仕上げのエグゾースト・テール・パイプが、このパッケージの品質の高さを強調します。インテリアでは、M エントランス・レール、マルチファンクション M レザー・ステアリング・ホイール、M フット・レスト、M シフト・レバー、BMW Individual アンソラジット・ルーフ・ライナー、そしてダッシュボードのブルーのコントラスト・ステッチなどが、スポーティな雰囲気を演出します。スポーツ・シートは専用の「マイクロ・ヘキサゴン」ファブリックとアルカンタラのコンビネーションか、またはブルーのステッチと M パイピング付きブラック・レザーのどちらかから選べます。この華麗なムードにマッチする車両キーは、M デザインの 3 色のアクセント付きとなります。

M Sport モデルには、このほか、2 ゾーン・オートマチック・エア・コンディショナー、ブレーキング機能付きクルーズ・コントロール、マルチファンクション・ステアリング・ホイール、リヤ・パーク・ディスタンス・コントロールの各装備が加わります。



4. パワートレイン： 新しいエンジン・ファミリーで 比類ない効率性と駆けぬける喜びを提供。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、スポーティな性能と優れた効率性に裏打ちされた高いレベルのドライビング・ダイナミクスと、BMW ならではの走りを体現したモデルです。こうした特性に大きく寄与しているのが、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラー特有のスペース効率重視の全体コンセプトに完璧にマッチするよう、ゼロから新開発されたパワー・ユニットです。そしてこのニュー・モデルに求められるアクティブな走りを考慮して、BMW では初めてとなる最新鋭の前輪駆動方式を採用しました。ニューBMW 218i アクティブ・ツアラーは、BMW コア・ブランドでは初めて、まったく新しい3気筒エンジンを搭載したモデルです。この最新のエンジンは、新型の4気筒エンジンと同様、モジュラー構造を採用した新しいエンジン・ファミリーに属しています。いずれもBMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用し、軽量で高性能、低燃費のエンジンです。

新しいエンジン・ファミリー：軽量、コンパクト、低燃費。

市場導入時点の最上位モデルは、4気筒ガソリン・エンジンを搭載したBMW 225i アクティブ・ツアラーです。BMW ブランド初の3気筒エンジンは、すでにBMW i8に搭載されてワールド・プレミアを果たしました。したがってBMW 218i アクティブ・ツアラーは、BMW コア・ブランドにおいてこのエンジンを搭載する最初のモデルということになります。そして市場導入時点のエンジン・ラインアップに並ぶもうひとつのエンジンが、BMW 218d アクティブ・ツアラーに搭載される4気筒ディーゼル・エンジンです。これらのパワー・ユニットは、すべてEU6 排ガス基準をクリアしています。

動力伝達システムは、新開発の6速マニュアル・トランスミッションを標準装備しています。またオプションで、3気筒エンジン搭載モデルには6速ステップトロニック・トランスミッションを装備することもできます。4気筒エンジン搭載モデルの場合、横置きエンジンで前輪駆動というコンセプトを考慮して新開発された新型8速ステップトロニックを用意しています。トランスミッションはすべてオート・スタート・ストップ機能付きで、ステップトロニック・トランスミッションには燃費削減が可能なコースティング機能も利用できます。

BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの新しいエンジン・ファミリーは、気筒あたり500 ccの排気量のシリンダーを直列に並べるという共通の構造原理を採用しています。極めて低摩擦のオール・アルミ製コア・エンジンは、熱力学的効率を最適化し、極めて軽量で、滑らかに回ります。クローズド・デッキ構造のクランクケースは極めて剛性が高く、摺動面にツイン・ワイヤー・アーク・スプレー・コーティングを施したシリンダー・ライナーを焼きばめすることで重量を抑え、摩擦を最小化しています。エンジン回転域全体にわたり滑らかな作動を実現するため、3気筒エンジンには1本、4気筒エンジンには互いに逆回転する2本のバランス・シャフトを組み込んでいます。それ以外の共通点として、インターフェース（共通のエンジン・マウント、冷却回路や吸排気システム、ヒーター／エア・コンディショナー接続部など）の標準化も行っています。

2 種のガソリン・エンジンは、いずれもエグゾースト・マニフォールドにターボ・チャージャーを一体化し、マニフォールドだけでなくアルミ製タービン・ハウジングも水冷式としています。ターボ・システムまでの排気ガス経路を短くすることでターボ・チャージャーの応答性を向上させ、排気ガスの高熱の影響が及ぶ範囲を限定し、システムの内部摩擦を抑え、結果として燃費を削減します。さらにエンジンに近い位置に触媒コンバーターを配置し、電動ブースト圧制御バルブ(ウェイスト・ゲート)を採用することで、排出ガス特性を改善しています。

BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを標準装備。

新エンジン・ファミリーのすべてのガソリン・エンジンとディーゼル・エンジンは、最新の BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用しています。ガソリン・エンジンにはターボ・チャージャー、ダイレクト・フューエル・インジェクション、バリアブル・カムシャフト・コントロール・システムのダブル VANOS を装備しています。4 気筒ガソリン・エンジンは、これに加えて無段階可変バルブ・コントロール・システムのバルブトロニックも装備しています。また、熱力学的に最適化されたディーゼル・エンジンの場合は、ターボ・チャージャー、可変タービン・ジオメトリ、そして最大噴射圧 2,000 bar のコモン・レール式ダイレクト・インジェクション・システムによるテクノロジー・パッケージを組み込んでいます。世界で他に類を見ないこのような構成により、BMW は効率、性能ともに最適なエンジン・ラインアップを揃えました。新しいエンジン・ファミリーは、それぞれの分野において性能と効率面で新たな基準を確立します。

BMW 225i アクティブ・ツアラー：高性能 4 気筒ガソリン・エンジンがスポーティな運動性能と極上の駆けぬける歓びを提供。

大きなパワー、力強いトルク、そして爽快感な吹け上がりの良さが、新しい 4 気筒ガソリン・エンジンの持ち味であり、そのパワーが BMW 225i アクティブ・ツアラーにひととき優れた運動性能をもたらします(複合モード燃費:6.0~5.8 リッター/100km、CO₂ 排出量(複合モード):139n~135 g/km)*。そしてこれに滑らかな作動と優れた効率性が加わり、ニューBMW のドライビング・エクスペリエンスを一段と楽しく演出します。

この排気量 2.0 リッターの直列 4 気筒エンジンは、5,000 rpm 以上のエンジン回転域で 170 kW[231 ps]の最高出力を発生します。最大トルクは 350 Nm で、1,250 rpm~4,500 rpm の回転域でこのレベルを維持します。このようなパワーとトルクを背景に、BMW 225i アクティブ・ツアラーは高速道路でも一般道路でも、また荷物を満載にして山道を駆けぬけるときの余裕の走りを見せます。そして発進から時速 100 km に達するまでを 6.6 秒で加速し、最高速度は 240 km/h に達します。こうした走行性能の高さを実現しながら、8速ステップトロニック・トランスミッションを標準装備したトップ・モデルは、驚くほど低燃費で有害物質の排出量もわずかです。ECE テスト・サイクルによる平均燃費は 6.0~5.8 リッター/100 km*で、CO₂ 排出量は 139~135 g/km*をマークしています。いずれもこのセグメントの同出カクラスとしては比類ない性能を見せます。

* 燃費値は ECE テスト・サイクルに基づき算出(装着するタイヤによって変化します)。

BMW 218i アクティブ・ツアラー：初めての 3 気筒ガソリン・エンジン搭載車。

BMW 218i アクティブ・ツアラー（複合モード燃費：5.2～4.9 リッター/100 km、CO₂ 排出量（複合モード）：120～115 g/km）*は、BMW i8 と共にワールド・プレミアを飾った BMW 初の 3 気筒ガソリン・エンジンを搭載しています。つまり BMW 218i アクティブ・ツアラーは、BMW のコア・ブランドで初の 3 気筒エンジン搭載モデルということになります。この直列 3 気筒エンジンは極めてコンパクトで、かつ驚くほど軽量です。その意味でこのニュー・モデルのコンセプトに最適といえるだけでなく、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーの採用によって極めて高いレベルのパフォーマンスと効率性を両立させています。このエンジンも、内部摩擦の低減により燃費を削減しています。しかも 3 気筒エンジン特有の吹け上がりの良さ、鋭いレスポンスを実現し、躍動感にあふれたスポーティなエンジン・サウンドを轟かせます。

エンジン全回転域にわたり滑らかによく回る。

軽量でコンパクトな 3 気筒エンジンは、振動面でも優れた特性を示します。3 気筒は直列 6 気筒エンジンと同様に、一次および二次慣性モーメントが働かないからです。それに加えてこのエンジンにはバランス・シャフトが取り付けられ、これでもともと少ないローリング・モーメントを完全に吸収し、全回転域にわたり滑らかな作動を実現しています。さらにこの出力クラスではめったに見られないダブル・マス・フライホイールと遠心振り子式ダンパーの組み合わせで回転むらを補正し、低回転域から滑らかに回るエンジンとなっています。

3 気筒エンジンには、このほかにも点火時期の感覚が広い関係で要求される出力に応じて充填サイクルを精密に調整できるというベネフィットがあります。その結果、3 気筒エンジンはアクセル・ペダル操作に素早く反応するほか、アイドリング回転数を超えてすぐのところから大きなトルクを発生できます。

排気量 1.5 リッターのターボ・チャージャー付き 3 気筒ガソリン・エンジンは、4,400 rpm 以上の回転域で最高出力 100 kW[136 ps]を発生します。またわずか 1,250 rpm のエンジン回転数で早くも最大トルクは 220 Nm に達し、加えてオーバーブースト機能により短時間ながら 230 Nm を引き出すこともできます。このトルク・アップは特に追い越しや上り坂走行時に効果があり、4,150 rpm までの回転域で利用できます。この良く回る 3 気筒エンジンは、6 速マニュアル・トランスミッションを装備した BMW 218i アクティブ・ツアラーを、発進からわずか 9.2 秒で時速 100 km まで加速します。最高速度は 205 km/h です。ECE テスト・サイクルによる平均燃費は 5.2～4.9 リッター/100 km*に抑えられ、CO₂ 排出量はわずか 120～115 g/km*です。

* 燃費値は ECE テスト・サイクルに基づき算出（装着するタイヤによって変化します）。

BMW 218d アクティブ・ツアラー：パワフルで経済的。

新しいエンジン・ファミリーの最初のディーゼル・エンジンは、BMW 218d アクティブ・ツアラーと同時にデビューする排気量 2.0 リッターの 4 気筒エンジンです(複合モード燃費:4.3~4.1 リッター/100 km、CO₂ 排出量(複合モード):114~109 g/km)*。このエンジンも摩擦を最適化し、熱力学特性を改善させています。滑らかに回るこのディーゼル・エンジンは、最高 2,000 bar の噴射圧を背景に大きな出力を発生し、同時に効率も向上しました。スポーティな走りと優れた経済性の両方を求めるドライバーにお薦めのパワー・ユニットです。このエンジンにも遠心振り子式ダンパー付きダブル・マス・フライホイールが装備され、走行快適性を向上しています。

ニューBMW 218d アクティブ・ツアラーの最高出力は 110 kW[150ps]/4,000 rpm で、最大トルクは 330 Nm/1,750~2,750 rpm です。また発進から 8.9 秒で時速 100 km に加速し、最高速度は 208 km/h に達します。ECE テスト・サイクルによる平均燃費は 4.3~4.1 リッター/100 km*で、CO₂ 排出量はわずか 114~109 g/km*です。この数値が示すように、BMW 218d アクティブ・ツアラーはクラスで最も低燃費で、最も環境に優しく、最も効率的なクルマの一つです。

今秋以降導入予定のモデル・バリエーション:BMW 220i アクティブ・ツアラー、BMW 220d アクティブ・ツアラー、BMW 216d アクティブ・ツアラー、そして特定のガソリン/ディーゼル・モデルに BMW xDrive を設定。

BMW は、今年中に BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのモデル・バリエーションをさらに拡充します。追加のエンジン・バリエーションのほか、インテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive をガソリン・エンジンとディーゼル・エンジンの各 1 モデルに導入します。この秋追加導入されるモデルは BMW 220i アクティブ・ツアラー、BMW 220d アクティブ・ツアラー、BMW 216d アクティブ・ツアラーで、さらに BMW 220d アクティブ・ツアラーと BMW 225i アクティブ・ツアラーに xDrive 仕様を追加します。

6 速マニュアル・トランスミッションと出力 85 kW[15 ps]のエンジンを搭載した BMW 216d アクティブ・ツアラーは、燃費が 3.8 リッター/100 km**で、CO₂ 排出量はわずか 99 g/km**です。これらの数値はモデル・シリーズ中の最高レベルを記録し、最高速度は 195 km/h**に達しています。

** 数字は暫定値であり、公称値は未発表。燃費値(暫定値)は ECE テスト・サイクルに基づき算出。

6 速マニュアル・トランスミッション — 軽量、高効率。

新開発のマニュアル・トランスミッションは、パワー・ユニットの効率改善にも重要な役割を果たします。これは既存のトランスミッションをベースに、前輪駆動車の横置きエンジンという搭載条件に合わせて調整したものです。効率を最適化したこのギヤ・ボックスは、重量面でもセグメントの基準を確立します。効率と重量の最適化が、大幅な燃費削減を可能にしました。高性能カーボン・マルチ・コーン・シンクロメッシュを採用してシフト動作を改善しており、スポーツ志向のドライバーにとって嬉しい軽快かつ素早いシフト操作が行えます。さらに、新たにギヤ・センサーを採用し、ドライバーを支援します。これはスポーツ・モード時にギヤ回転数を同調させ、最適な噛み合い速度でスポーティなシフト・チェンジが行えるようにします。

新型マニュアル・トランスミッションは、BMW ならではの快適性も提供します。外部シフト・メカニズムは柔軟性のあるボアデンケーブルを採用し、エンジンやトランスミッションからの不快な振動とトルク・ステアを極小化します。この方法はトランスミッションの静粛性にも効果があり、ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの快適性向上に寄与しています。

オプションの 6 速および 8 速ステップトロニック・トランスミッション。

同じく新開発されたオートマチック・トランスミッションも、各モデルのエンジン特性に合わせて完璧にセットアップされています。6 速ステップトロニック・トランスミッションは 3 気筒エンジン専用とし、8 速ステップトロニック・トランスミッションは 4 気筒エンジンと組み合わせられます (BMW 225i アクティブ・ツアラーに標準装備)。いずれも油圧制御を最適化し、精密制御のコンバーター・クラッチを装備して、スポーティなシフト特性と快適なギヤ・チェンジ、そして優れた効率性を実現しています。それによりシフト時間／応答時間の短縮と、複数のギヤをジャンプするダイレクト・シフトダウンを可能にしているほか、スポーツ志向、快適性重視、燃費重視の走行モードをソフトウェア・レベルでサポートするドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチを装備しています。このほか新しいステップトロニック・トランスミッションの機能には、オート・スタート・ストップ機能とコースティング機能も含まれます。8 速ステップトロニック・トランスミッションにはさらにローンチ・コントロール機能も加わります (詳細はサスペンションの章を参照)。

5. サスペンション： 快適性と運動性能を高いレベルで両立。



BMW のすべてのモデルがそうであるように、ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーも高いレベルの運動性能と BMW ならではのドライビング・エクスペリエンスを提供します。そして BMW は今回初めて、どんな条件下でも最高の快適性とスポーツ性を実現できる最新の前輪駆動コンセプトを採用しました。その BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、セグメントで最高の運動性能を誇るだけでなく、高いレベルの快適性を提供する前輪駆動モデルとなっています。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのバランスのとれた総合コンセプトは、このクルマの上質な走りに大きく貢献しています。全く新たに開発されたワイドなトレッドのサスペンション、摩擦を抑えたステアリング・システム、高いねじれ剛性を持ちながら軽量かつショート・オーバーハングを特徴とするボディ、極めて低い重心位置、さまざまな空力対策などにより、このクラスでは類を見ない新たな BMW のハンドリングを実現しています。さらにオプションの電子制御ダンパーを装備すると、走行状況に合わせて 2 種類のサスペンション特性から選択でき、より高いレベルの走行快適性と運動性能を得ることができます。この他にも、サーボトロニック、バリアブル・スポーツ・ステアリング、M Sport (11 月以降導入予定) など、サスペンションのセットアップを好みに合わせるための理想的なオプションを用意します。

新開発の前輪駆動用サスペンション。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、ホイールベースが 2,670 mm、トレッド幅はフロントが 1,561 mm、リヤが 1,562 mm です (BMW 225i アクティブ・ツアラー: フロント 1,557 mm / リヤ 1,558 mm)。標準装備のサスペンションであっても BMW 特有の俊敏性と方向安定性、それに高いレベルの走行安定性と優れた乗り心地を約束します。サスペンションのセットアップでエンジニアが特に重視したのは、前輪駆動でいかにして最善の運動性能を実現し、正しくステアリング・フィードバックが得られるようにするかということでした。そしてシステムの配置に起因するステアリングへの好ましくない影響を、可能な限り抑制することにも注意を払いました。

シングル・ジョイント・スプリング・ストラット式フロント・アクスル。

BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのシングル・ジョイント・スプリング・ストラット式アクスルは、まったく新たに開発されました。軽量ながら極めて丈夫なコンポーネント、サスペンションの運動学的および弾性運動学的にパーフェクトなセットアップにより、俊敏なハンドリングと高い方向安定性、パワー・ユニットからの影響をほとんど受けないステアリング・フィーリングを実現しています。アルミ製ピボット・ベアリング、高張力鋼製のアクスル・キャリアとコントロール・アーム、そしてバネ下質量を軽減するため肉厚を段階的に変えた中空ラテラル・アンチ・ロール・バーによって俊敏性と走行快適性を向上させています。

全体として、サスペンションの運動学的特性やスプリング／ダンパーのセットアップは、このクルマに働く横方向加速度の最大値に合わせてマウントおよびベアリングを最適化し、エラストキネマティクス(弾性運動学)を正確に計算し、乗り心地にも配慮した上で、最も高い方向安定性が得られるようにしています。例えばダンパーは、フロント、リヤ共に 3 ウェイ・サポート・マウントによってボディに振動を及ぼさないように分離されて取り付けられます。これはこのクラスのクルマでは類を見ない方法です。

マルチ・リンク式リヤ・アクスル。

リヤ・サスペンションも新開発のマルチ・リンク・アクスルを装備しており、同様に BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの上質な走りに少なからず寄与しています。高張力鋼製で非常に剛性の高いコントロール・アームと中空ラテラル・アンチ・ロール・バーを組み合わせ、スポーティな前輪駆動コンセプトに合わせたセットアップを施し、このニュー・モデルのスペースコンセプトに合わせてスプリングとダンパーを別々に配置しています。このマルチ・リンク・リヤ・アクスルは、アクスル・キャリアを介してボディに最適に接続されています。ホイール・ベアリングやボール・ジョイント、ホイール・キャリアのラバー・マウントなどのコンポーネントを入念に設計し、キャンバー剛性を最適化して高い安定性を実現しています。

シングル・ピニオン式電動パワー・ステアリング。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのために、新しい電動パワー・ステアリング EPS を用意しました。このシステムは、俊敏性と快適性の向上に寄与し、パワー・ユニットからの影響をほとんど感じさせないステアリング・フィーリングが得られます。BMW 特有のハンドリングを前輪駆動方式でも実現するため、このニュー・モデルの駆動コンセプトに合わせてハードウェアとソフトウェアを完璧にセットアップしました。サーボ・ユニットとステアリング・ギヤは一つのモジュールに統合されており、ステアリングの補助力はピニオン(シングル・ピニオン)に直接作用します。これにより、ステアリング・システムの摩擦力を最小化することができました。

フロント・アクスルの機能的レイアウトの効果で、ステアリングは走行状態や路面状況に関して極めてダイレクトかつ正確なフィードバックを返します。またエラストキネマティクスを厳密に計算し、ソフトウェアで精密に補正することで、トルク・ステアも最小限に抑えています。さらにエンジン・マウントとトランスミッション・マウントの最適な配置とエンジンのペンデュラム・サポートの働きにより、エンジンからのトルクを打ち消しています。もう一つ、フロント・エンドの剛性が大きいことも、ステアリング精度の向上に寄与しています。

全体としてこのステアリングは、俊敏でスポーティなキャラクターを強調し、BMW 特有のステアリング・フィールと明確に定義されたインフォメーションを伝えます。ステアリングの正確さ、方向安定性、レスポンスといったトータルのステアリング品質の高さにより、ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーはクラス最高のパフォーマンスを発揮します。

快適性と俊敏性を両立：サーボトロニックとバリアブル・スポーツ・ステアリング。

快適性のさらなる向上に寄与するオプション装備が、車速感应式パワー・ステアリングのサーボトロニックです。また BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーには、俊敏性とステアリング精度をさらに高めたいという求めに応じ、バリアブル・スポーツ・ステアリングもオプション設定しています。このシステムは、ステアリング・ホイールの操作量に応じてステアリング・ギヤ比を調整します。駐車時やコーナリング時はわずかな力でステアリングを操作できる一方、高速走行時は直進性と方向安定性を高め、ブレのないステアリングを実現します。

ブレーキ・システム：優れたストッピング・パワー、耐フェード性、安全性を実現。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは高性能のフローティング・キャリパー式ブレーキ・システムを装備しており、ブレーキ・ディスクはフロントがベンチレーテッド・タイプを、またエンジン出力によってはリアにもベンチレーテッド・ディスクを装備します。この軽量ブレーキ・システムは、モデルごとにエンジン出力に合わせてセットアップされており、耐フェード性と操作快適性に優れ、制動力を精密にコントロールできるといった特長を持ちます。高度の耐熱性を確保するため、モデルによってはブレーキ冷却用のエア・ダクトが装備されます。パーキング・ブレーキは電動式で操作性が良く、センター・コンソールまわりのスペースの節約にも寄与します。

運動性能を最適化させるシャシー・コントロール・システム。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、運動性能を向上させ、アクティブ・セーフティを高めるための各種の電子制御シャシー・コントロール・システムが用意されています。ダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)には、ABS の他、ダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)、エレクトロニック・ディファレンシャル・ロック・コントロール(EDLC)、パフォーマンス・コントロールが統合されています。その他にも、前輪駆動コンセプトに合わせて設定されたトルク・インターフェースなど、エンジンとサスペンションを相互に最適化する一連の補助機能が用意されています。

この他、ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの運動性能を向上させるため、シャシー・コントロール・システムにいくつかの特殊なモード(DSC、DTC、DSC オフ)が用意されています。ドライバーはそれぞれのモードの違いをはっきり体感することができます。DTC モードではスタビリティ・コントロールの制御限界値が引き上げられ、ある程度のホイール・スピンを意図的に利用しながら、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのトラクションを最大限に利用した加速性能を楽しむことができます。また DSC オフ・モードではフロント・ホイールに適切な大きさの制動力を働かせて機械式のディファレンシャル・ロックの作動に似た状態を作り出し(EDLC 機能)、コーナー出口で加速するときのトラクションを大幅に向上させることができます。4 気筒エンジン搭載モデルのパフォーマンス・コントロール・システムも、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの俊敏性を向上させます。このシステムは限界領域の手前まで、前輪駆動特有のアンダーステア傾向を抑制します。これらの DSC 機能の他に、ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーには発進アシスタント、ドライ・ブレーキング機能、ブレーキ・スタンバイ機能、フェード補正機能が標準装備されます。

8 速ステップトロニック・トランスミッション搭載車では、標準装備のローンチ・コントロールを使って一段とスポーティに加速することができます。この機能はエンジン回転数を発進に適した理想のレベルに制御するとともに、その後のアップシフト時に最適な噛み合い回転数となるようにシフト・ポイントを設定します。ローンチ・コントロールを使うと、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーを最適なトラクション、最大の加速で発進させることができます。

運動性能に寄与するオプション:スポーツ・サスペンション、アダプティブ・ダンパー。

M Sport に標準装備される車高が 10 cm 下がる M スポーツ・サスペンションは、市場導入時点から単独の装備としても入手できます。硬めのスプリング／ダンパー設定と、固めのアンチ・ロール・バーにより運動性能を一段と向上させます。また BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの M Sport には、17 インチまたは 18 インチの M ライト・アロイ・ホイールを用意しています。スポーツ志向のドライバーは、この代わりにダイナミック・ダンパー・コントロール付きサスペンションを選択することもできます。その場合、快適性重視か運動性能重視かにより、走行条件に合わせてドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチでダンパー特性のセットアップを選ぶことができます。

ECO PRO モード付きドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチ:スポーツ志向、燃費志向、快適性志向をボタン操作で選択。

センター・コンソール前方に組み込まれたドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチでは、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの全体的なキャラクターを、走行条件に合わせて、あるいは自分の好みに合わせて、スポーティに、快適に、または燃費志向に切り換えることができます。そのために ECO PRO、SPORT、COMFORT の 3 つのモードが用意されています。ボタンを押すと、モード別にあらかじめ定義されたセットアップが呼び出され、関係するドライブレインおよびサスペンション・コンポーネントの設定が切り換わります。



6. BMW EfficientDynamics: より少ない燃費および排気ガスで より大きなパワーを実現。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、BMW EfficientDynamics 開発戦略によって生み出された最新技術を数多く採り入れています。その一例が、ツインパワー・ターボ・テクノロジーを搭載したガソリン／ディーゼル・エンジンです。これによってパワーアップと燃費向上を同時に達成し、駆けぬける歓びを大幅に高めています。前輪駆動コンセプトに合わせて効率性を最適化し、摩擦損失の低減を図った新しいトランスミッションについても同じことが言えます。6 速および 8 速ステップトロニック・トランスミッションは、トルク・コンバーター・スリップを最小限に抑えると同時に、インテリジェント・コントロール・ストラテジーによりさらなる燃費削減の可能性を開きました。さらにオート・スタート・ストップ機能やコースティング・モード（オートマチック・トランスミッション車のみ）の他、ブレーキ・エネルギー回生システム、低摩擦ホイール・ベアリング、低転がり抵抗タイヤを標準装備しています。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーは、補機類や電装品の制御にもインテリジェント・エネルギー・マネジメントを採り入れています。オンデマンド制御のクーラント・ポンプ、特性マップ制御式オイル・ポンプ、電動パワー・ステアリングなどは必要なときのみ作動するためエネルギー消費を抑え、燃費削減に寄与します。ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチで ECO PRO モードを選択すると、駆動系の制御設定がモードに合わせて変更される他、快適性を損ねない範囲でヒーター／エア・コンディショナーの運転を控え、効率を高めます。そのため ECO PRO モードでは、燃料消費率を最大 20 パーセント節約することができます。また、コースティング機能（ステップトロニック・トランスミッション搭載車）と ECO PRO ルート（ナビゲーション・システム装備車）により、燃費をさらに向上させます。

インテリジェント・ライトウェイト構造で運動性能と燃費を向上。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの運動性能に特に関係するのが、車両重量とボディ剛性です。高張力鋼や超高張力多層鋼、および使用目的に合わせて厳密に調整した素材（テイラード・ブランク）の採用により、途方も無いボディ強度を持たせつつ、軽量化を実現しています。ボンネットは軽量アルミニウム製で、重量は従来構造のボンネットに比べて半分のわずか 8 キログラムです。このほか、バンパー・サポートやステアリング・コラム、ブレーキ・ガード、ホイール・ピボット・ベアリングも軽量化され、比類ない経済性と BMW 特有のドライビング・ダイナミクスの実現に役立っています。

エアロダイナミクス：空気抵抗を抑え、燃費を向上。

ニューBMW 218i アクティブ・ツアラーの空気抵抗係数は $C_d=0.26$ を達成し、優れた空力特性を備えています。そのため、このクルマ全体のプロポーションやフロント・エンドおよびリヤ・エンドのデザイン、ほぼフラットなアンダー・ボディ・パネルなどにより空気抵抗を最適化しています。フロント・エプロンの BMW 独自のエア・カーテンは、フロント・ホイール・ハウスの周囲に空気をカーテン状に流し、フロント・ホイール周りの乱気流を抑制します。ルーフ・スポイラーは Dピラー後方のエア・ディフレクター（エアロ・ブレード）と一体化され、リヤ・エンドの気流を整えます。テール・ライトの形状も空気抵抗の軽減に貢献しています。また BMW キドニー・グリルとフロント・ロワー・エア・インテーク内に装着されたアクティブ・エア・フラップも、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの C_d 値と燃費向上に寄与しています。

7. BMW コネクテッド・ドライブ： 優れた安全性、快適性を高めるネットワーク。



BMW は自動車、ドライバー、周囲を取り巻く環境をネットワークでつなぐことの重要性に早くから気づき、BMW コネクテッド・ドライブによってデジタルの世界を自動車に組み込む試みを何年も前から取り組んできました。BMW コネクテッド・ドライブは、ドライバー・アシスタント・システムとモビリティ・サービスを組み合わせたユニークなサービスで、それぞれのサービスは標準装備されるものとオプションで提供されるものがあります。周囲の環境とのインテリジェントなネットワーク化により、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーもプレミアム・コンパクト・クラスでは類を見ないほどの高いレベルの快適性と、インフォテインメント／エンターテインメント機能を利用できます。安全性の向上に大きく貢献するのが、画像データを基に作動する新世代のアシスタント・システムです。

プレミアム・コンパクト・セグメントで初めて BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーに装備される BMW ヘッドアップ・ディスプレイは、すべての重要な情報をドライバーの視野内に直接表示します。例えばアシスタント・システムやナビゲーションの情報などが、車速と共にメーター・パネルとフロント・ウインドウの間にある昇降式スクリーンにフルカラーで投影されます。

安全性と快適性を高めるドライバー・アシスタント・システム。

カメラ技術の進歩を背景に誕生したのが、ルーム・ミラー基部に取り付けたモノカメラからの画像を基に機能する新世代アシスタント・システムです。カメラ・ベースのアプリケーションは、レーダー技術をベースにしたシステムに似た機能を提供できるだけでなく、静止しているオブジェクトの識別能力ではレーダーをしのぎます。採光条件(周囲の明るさ)面である程度の制約がありますが、画角が広いため、ドライバーの視野内に入り込んでくるオブジェクトや視野から出て行くオブジェクトも確実に認識できます。ドライビング・アシスタント・プラス・パッケージには、カメラ・ベースのトラフィック・ジャム・アシスタント、ストップ＆ゴー機能付きクルーズ・コントロール、前車接近警告(シティ・ブレーキング機能付き)、衝突回避・被害軽減ブレーキ(同じくシティ・ブレーキング機能付き)、レーン・ディパーチャー・ウォーニング(車線逸脱警告システム)と言ったシステムその他、カメラ・ベースのデータを利用するスピード・リミット・インフォが統合されています。これらのシステムは、運転中に起きがちな単調な操作の繰り返しから来るドライバーのストレスを軽減し、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのドライブの安全性と快適性を向上させます。

パーキング・アシストは超音波を利用したシステムです。進行方向と平行するように設けられた路肩などの駐車スペースに停車するときのハンドル操作をドライバーに変わって行い、アクセルとブレーキの操作に関するアドバイスをを行います。そのため、ドライバーはステアリング・ホイールから両手を離し、ブレーキと加速、前進／後退のギヤの切り換えだけに集中することができます。

シティ・ブレーキング機能付きの前車接近警告と衝突回避・被害軽減ブレーキ。

新しいアシスタント・システムのシティ・ブレーキング機能付き衝突回避・被害軽減ブレーキにより、BMW グループは市街地での歩行者の安全性を大幅に向上させました。道路交通における歩行者の挙動は予測困難です(立ち止まったり、突然方向を変えたりします)。

そのため、アシスタント・システムによる検出には、前走車などよりも明らかに高い要求が課せられます。

シティ・ブレーキング機能付き前車接近警告と衝突回避・被害軽減ブレーキは、市街地走行での典型的な速度である 0～60 km/h の範囲で機能します。歩行者または駐停車している自動車を検知すると、システムはドライバーに警告音と警告灯で知らせ、いつでも減速できるようにブレーキをスタンバイ状態にします。ドライバーが減速操作をせず、衝突回避のためのステアリング操作もしなければ、システムが作動して自動的にブレーキングが開始されます。それにより、理想的なケースでは歩行者または自動車への衝突を回避できます。また衝突を免れなかった場合でも、被害の程度を大幅に軽減します。

カメラ・ベースのクルーズ・コントロール(ストップ&ゴー機能付き)

カメラ・ベースのクルーズ・コントロール(ストップ&ゴー機能付き)は、混み合った高速道路や市街地でしばしば要求される車間距離と車速の頻繁な微調整に伴う煩わしさからドライバーを解放します。システムは最大 120 メートル前方のクルマを識別し、予測的に制御を行います。システムは車速 0～140 km/h の範囲で機能し、ドライバーが選択した車速と事前に設定した前走車との車間距離を維持します。この機能はエンジン・マネジメント・システムとブレーキ・システムの電子制御によって実現され、減速後の短時間の停車にも対応する他、突然横から割り込んできた車両も確実に検知します。

カメラ・ベースのクルーズ・コントロール(ストップ&ゴー機能付き)は、余裕のあるときは穏やかに減速しますが、緊急を要する場合は、警告灯と警告音でドライバーに警告します。この場合、ドライバー自身がブレーキングを行う必要があります。

道路が混み合っているときは、システムによる自動ブレーキングの利きが強くなり、短時間の停車にも対応します。これは集団で走行している車両群の速度が絶えず変化する可能性があることを考慮しつつ、なおドライバーの負担を最大限に軽減するためです。ドライバーが選択した設定はメーター・パネルまたは BMW ヘッドアップ・ディスプレイに表示され、ドライバーは素早く状況を総合的に把握することができます。ドライバーはいつでもカメラ・ベースのクルーズ・コントロール(ストップ&ゴー機能付き)の制御に介入し、安全を確保するために運転の主導権を取り戻すことができます。

トラフィック・ジャム・アシスタント: 加速、減速を行い、車線を維持する。

ヨーロッパ市場のみに提供されるトラフィック・ジャム・アシスタントは、車速 0～60 km/h の範囲で有効に機能し、高速道路上の混み合った集団走行の状況に最適に適合します。また 30 秒以内であれば、短時間の停車後でもシステムは有効で、発進すると前走車との安全な車間距離と車速を維持します。トラフィック・ジャム・アシスタントはまた、車線を区切る境界線を識別し、電動パワー・ステアリングに働きかけて横方向の動きを調整し、車両を正確にレーン内に維持し、ドライバーの負担を軽減します。

トラフィック・ジャム・アシスタントを利用するには、車速 0～140 km/h の範囲をカバーするカメラ・ベースのクルーズ・コントロール(ストップ&ゴー機能付き)が必要です。両方のシステムが理想的な補完関係をなし、停止状態から車速 140 km/h までの範囲でドライバーを支援します。

ドライバーはトラフィック・ジャム・アシスタントが作動中であっても、常に少なくとも片手をステアリング・ホイールにかけている必要がありますが、それ以外はリラックスして交通状況を観察していただけます。トラフィック・ジャム・アシスタントは高速道路または高速道路に準じた道路を走行するときに負担を軽減します。ただし、道路種別の識別のため、ナビゲーション・システムまたはナビゲーション・プラスを装備していることが前提条件となります。

スピード・リミット・インフォ・メモリーが状況によって変化する制限速度も識別。

このドライバー・アシスタント・システムは、現在走行中の道路の制限速度と追越し禁止の標識を検知します。そのためにモノカメラの画像データとナビゲーション・システムのデータを比較し、メーター・パネルまたは BMW ヘッドアップ・ディスプレイに対応する道路標識を表示します。その際、カメラは路肩の道路標識を識別するだけでなく、高速道路の頭上をまたぐ位置に設置されている可変式の標識も読み取ることができます。システムは標識に示された制限情報の適用時間帯も読み取り、その時点で適用される制限情報だけをピックアップします。さらに、路面が濡れているときの制限速度がある場合、それが有効かどうかをワイパーの動作から判断します。

レーン・ディパーチャー・ウォーニング(車線逸脱警告システム): 車線を常に忠実に維持。

トラフィック・ジャム・アシスタントと同様、このシステムもルーム・ミラー基部のカメラで捉えた車線を区切る境界線を確実に識別します。車線逸脱警告システムを作動させているとき、車両がドライバーの意図によらずに車線中央から外れると、システムが直ちにステアリング・ホイールを振動させてドライバーに警告します。

ハイビーム・アシスタント: 夜間の視界を改善。

ハイビーム・アシスタントは、夜間走行時の安全性と快適性を向上します。フロント・ウィンドウのモノカメラで現在の周囲の明るさを検知し、前走車と対向車をモニターして、状況に応じてヘッドライトを制御します。ハイビーム・アシスタントは車速 50 km/h 以上で有効となり、ロービームとハイビームの切り換えを的確に行います。ナビゲーション・システム装備車両では、情報品質向上のためマップ・データも援用します。

カメラで検知できるのは、前方最大 1,000 メートル以内の対向車のヘッドライトと、500 メートル以内の前走車のリヤ・ライトです。このデータをもとに、他の道路利用者の目を眩ませる可能性の有無に応じて、システムがハイビームとロービームを切り換えます。ハイビーム・アシスタントによりハイビームの点灯時間が伸び、暗がりでの危険と障害物の識別が大幅に改善されます。カメラは街灯で明るく照らされた道路でも良好な検知能力を発揮しますので、たとえば住宅街などではハイビームの無駄な点灯を確実に避けることができます。

前後方向アシスタント機能付きパーキング・アシスト:空いた駐車スペースに確実に誘導。

BMW グループは新しいパーキング・アシストで駐車時の快適性と安全性を向上させました。パーキング・アシストは 35 km/h 以下の車速で機能するシステムで、車両の左右に取り付けられた超音波センサーで道路脇の駐車スペースを探し、ドライバーの負担を軽減します。システムが探すのは BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの全長よりも約 1 m、あるいはそれ以上長い空きスペースです。パーキング・アシストを作動させると、該当する条件に合った空きスペースをダッシュボード中央のコントロール・ディスプレイに表示します。ボタンを押して駐車プロセスを開始すると、理想的な進入ラインを正確に計算し、駐車操作が始まります。パーキング・アシストは電動パワー・ステアリングと連動してハンドル操作を受け持ちます。ドライバーはアクセルとブレーキ・ペダルの操作、そして前進／後退のギヤの切り換えだけを行い、あとは駐車プロセスが終わるまで周囲の状況の観察に神経を集中することができます。情報はすべてコントロール・ディスプレイに表示され、ドライバーは常に一連の状況を把握することができます。

BMW コネクテッド・ドライブのサービス&アプリ:デジタル・ワールドへの入り口。

スマートフォンとモバイル・インターネットの急速な普及を背景に、デジタル・ワールドはもはや私たちの日常生活の一部となった感があります。BMW コネクテッド・ドライブのサービス&アプリは、すっかり日常化したネットワークへの常時接続を車内でも可能にするためのオプションです。BMW のクルマで利用することを前提に最適化されたインフォテインメント／エンターテインメント・サービスや専用のスマートフォン・アプリによって、車内で快適に利用できます。BMW コネクテッド・ドライブはいつでも契約することができ、契約期間も柔軟に選択できます。BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーのオーナーは、世界をリードする BMW の革新的なモビリティ・サービスを、クルマに乗りながら存分に楽しむことができます。

インテリジェント・エマージェンシー・コール、時代を先取りするセーフティ機能。

2015 年以降、欧州連合 (EU) 域内で提供されるすべての新車には、自動エマージェンシー・コールを装備することが義務付けられます。BMW コネクテッド・ドライブにはこれに対応するインテリジェント・エマージェンシー・コールと呼ぶシステムがあり、自車位置の自動検出や事故の程度の把握など、EU で規定されている以上の機能を、2015 年の発効を待たずに提供することができます。事故が起き、エアバッグが作動すると直ちにセンサーが事故の種類と衝撃の強さ、負傷の恐れの有無、そして乗員が着座しているのはどのシートかを検知します。インテリジェント・エマージェンシー・コールはこれらのデータを、車両の位置情報(精度はメートル単位)および車両種別の情報と一緒に車載の SIM カード経由で BMW コールセンターに伝送します。コールセンターのオペレーターが電話で車中の乗員に連絡を取り、把握したあらゆる情報をもとに、最速かつ最適なレスキュー活動を手配します。インテリジェント・エマージェンシー・コールは手動で起動することもでき、他の道路利用者が事故に巻き込まれた場合に助けを差し伸べるすることができます。

コンシェルジュ・サービス - 24 時間利用可能な秘書サービス。

ボタンを押すとパーソナル・サービスが起動し、BMW コールセンターで待機するオペレーターとの回線につながります。これで最寄りの ATM はどこか、夜間対応の薬局はどこにあるかなどの個々の質問に答えるほかホテルの宿泊の予約も引き受けます。ナビゲーション・システムへのアドレス情報の直接転送を依頼することもできます。

リアルタイム・トラフィック・インフォメーション - 道路状況をリアルタイムで把握。

このサービスでは、高速道路だけでなく幹線道路、一般道路、さらには市街地の道路まで含めて現在の道路状況を把握することができます。何らかの交通障害が生じると、システムはその情報をほぼリアルタイムでドライバーに伝えるほか、推奨迂回路を早めに提案することもできます。

8. BMW 純正アクセサリ： 実用的で安全、機能的。



BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーには、標準装備品やオプション装備品を補完するための多彩なアクセサリを用意しており、これらがこのクルマの多様性と機能性をさらに向上させます。BMW 純正アクセサリは、このアクティブ・ツアラーの乗員の個別的な要望に応えることを目的として開発されたテラー・メード製品です。そのラインナップは多岐にわたっており、旅行やレジャーのための快適な輸送および収納用品のほか、インテリアの機能性を向上させるアクセサリ、エクステリアに印象的なアクセントを添えるスポーティでエレガントなライト・アロイ・ホイール & タイヤ・セットなどが含まれています。

トラベル & コンフォート・システム。

トラベル & コンフォート・システムは、後席乗員のための実用的かつ機能的なモジュール式装備品で、旅行中はもちろん、それ以外の場面でも重宝します。丈夫なベース・キャリアをフロント・シートのヘッドレストの支柱に固定し、これに各種のシステム・コンポーネントをしっかりと固定します。取付けには実用的なプラグイン式コネクターを使っており、各コンポーネントを必要に応じて簡単に素早く脱着できます。その一つが、カップ・ホルダー付きで高さや傾きを調整できるフラップ式テーブルです。塗装仕上げされた天板とパール・グロス・クローム仕上げされたアクセントが、インテリアの上質な雰囲気にもマッチします。車内での限らないマルチメディア体験に寄与するアイテムが、Apple iPad ホルダーです。角度が調節できるため、画面の傾きを段階的に調節できます。さらにタブレットを取り付けた状態で 360 度回転させることができます。そのほか、ホテル・ロック付きで取り外して携行できる衣類ハンガーや、実用的なユニバーサル・フックなどがシステム・コンポーネントとして提供されます。

トランスポート & ストレージ・システム。

BMW はレジャーや旅行、スポーツなどのために、調和が取れたデザイン、丁寧な仕上げ、最適な機能性、そして素早い取り付けを特徴とする輸送および収納システムを開発しました。後席用ストレージ・バッグは後席中央座席にシートベルトで固定でき、各種の小物を収納できるほか、カップ・ホルダーが 2 個付属します。フロント・シートのヘッドレストに取り付けるシート・オーガナイザーは、さらに多くの収納スペースを提供します。内側がさらにいくつかのスペースに仕切られた 2 個のロック付き収納部のほか、断熱仕様のボトル・コンパートメントがあり、旅行に欠かせない重要な小物一式を、いつでも取り出せるように保管できます。ストレージ・バッグとシート・オーガナイザーは取り外して持ち出すこともでき、お子様連れで旅行するときなどに重宝します。ウィンター・スポーツをするときにお薦めなのが、耐衝撃テスト済みのスキー／スノーボード・バッグです。スキーなら 4 セット、スノーボードなら 3 枚が収納できます。後席バックレスト中央部を倒してそのスペースに取り付けるので、左右の座席に座ることもできます。このバッグは、付属のベルトとカラビナを使ってリヤ・シート背後の荷物固定用リングにしっかりと固定できます。またキャスターとキャリング・ベルトおよびショルダー・ベルトが付属しているため、トrolleyを引く要領で快適に持ち運びできます。

バイクやその他のスポーツ・ギアを安全に輸送。

バイクを運ぶ場合は、ルーフ・キャリア・システムまたはリヤ・キャリア・システムのどちらかを使用します。ルーフ・キャリア用ツーリング・バイク・ホルダーはロック付きで、操作が簡単なクランプ・システムが付属しています。これを使ってツーリング用バイク、レース用バイク、マウンテン・バイクまたはチャイルド・バイクを合計 4 台まで安全に輸送できます。リヤ・キャリア・システムは、トレーラー・ヒッチまたはリヤ・キャリア取付けキットを装備した車両向けです(2015 年 3 月以降に導入)。トレーラー・ヒッチ用バイク・ホルダーは、使用しないときにコンパクトに畳んでおけます。また耐荷重が大きく、電動アシスト自転車の輸送にも適しています。クイック・リリース機構、オーバル・チューブ・クランプ、ラチェット・システムにより、素早く簡単に、確実に固定できます。リヤ・キャリアはバイク 2 台の輸送に対応しており、使用しないときにラゲージ・コンパートメント・フロア下のトレイに格納できます。またエクステンション・キットを使って 3 台のバイクを輸送することもできます。

BMW ルーフ・キャリア・システムに取り付けられるルーフ・ボックスも提供します。これを装備すると、アクティブ・ツアラーの収納能力は最大 460 リッター増加します。ルーフ・ボックスはいろいろなカラー・バリエーションが用意され、耐衝突性能、操作信頼性、耐久性の点で最高レベルの安全基準をクリアしています。サーフボード、スノーボード、スキーの各ホルダーも同様です。

細部まで行き届いた安全性。

BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラーの ISOFIX チャイルド・シート・アタッチメントは、スポーティ&クラシック仕様か、またはスポーティ&プログレッシブ仕様の 2 種類があります。カラーは BMW 特有のデザイン基準にしたがっています。BMW チャイルド・シート・システムは、全てが最高レベルの安全基準を満たしているほか、片手で操作できる実用的な高さ調節システム、側方衝突時の頭部保護効果を高める特許技術のエア・パッド・セーフティ・テクノロジー、取り外して洗えるカバーなどを装備しています。取り外して持ち運べるベビー・キャリア、および幼児用(年齢グループ 0+/1)のシートは、マグネット式ベルト・バックル付き 5 点式ベルト・システムを備え、車両の ISOFIX ブラケットに固定できます。ベビー・キャリアは進行方向と逆向きに取り付けます。BMW ジュニア・シート 1 は、前向き、後向きのどちらにも装着できますが、安全性が高いのは後ろ向きです。3~12 歳児(グループ 2/3)用のシートは、3 点式シート・ベルトを使って前向きに装着します。その際は、さらに ISOFIX 固定用アンカーに追加固定することもできます。チャイルド・シートのバックレストは、車両のシートに最適にフィットします。シートは子供の成長に合わせて高さや幅を調節できるため、長期にわたって使用できます。バックレストは倒すことができ、使用しないときの輸送を容易にします。

汚れと水濡れ対策。

BMW アクティブ・ツアラーには、極めて丈夫な素材でできたテラー・メードの全天候型フロア・マットと、ぴったりサイズで表面にラバーを被せたファブリック製フロア・マットが用意されています。ともに 2 枚組です。これらのフロア・マットは汚れや湿気から確実にガードし、室内の見栄えを保ちます。ラゲッジ・ルームにぴったりフィットするラゲッジ・フロア・マットも同様です。滑り止め加工が施され、ウェット・セクションはそれを取り囲むように縁が設けられています。サイドにはさまざまな小物を収納できるテキスタイル製ポケットが縫い付けられています。このマットを使っている場合でも、荷物固定用のリングを使用できるようになっています。

ライト・アロイ・ホイール&タイヤ・セット。

オプション装備品のライト・アロイ・ホイールで物足りないというオーナーのために、アクティブ・ツアラーには BMW アクセサリー・プログラムの一環として魅力的なホイール&タイヤ・セットが用意されています。ダブル・スポーク・スタイリング 18 インチ鋳造アルミ・ホイールと、タービン・スタイリング 19 インチ・アロイ・ホイールです。いずれのバリエーションもツートン・カラー仕様です。なお BMW 純正アクセサリは、デザイン、品質および安全性の面で、BMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラー自体と同等の高い基準を満たしています。

9. 主要諸元。

ニューBMW 2 シリーズ アクティブ・ツアラー

218i、225i、218d。

| | | BMW 218i アクティブ・ツアラー | BMW 225i アクティブ・ツアラー | BMW 218d アクティブ・ツアラー |
|------------------------------|----------------|---|-----------------------------------|---|
| ボディ | | | | |
| ドア数/座席数 | | 5/5 | 5/5 | 5/5 |
| 全長/全幅/全高(空車時) | mm | 4342/1800/1555 | 4342/1800/1555 | 4342/1800/1555 |
| ホイールベース | mm | 2670 | 2670 | 2670 |
| トレッド幅 フロント/リヤ | mm | 1561/1562 | 1557/1558 | 1561/1562 |
| 最低地上高 | | 165 | 156 | 165 |
| 最小回転直径 | m | 11.3 | 11.3 | 11.3 |
| 燃料タンク容量 | 約 リッター | 51 | 51 | 51 |
| ヒーターを含む冷却システム容量 ヒーター | リッター | 6.4 (6.5) | 6.8 | 8.1 (8.2) |
| エンジン・オイル ¹⁾ | リッター | 4.25 | 5.25 | 5.0 |
| 車両重量(DIN/EU) | kg | 1320/1395 (1360/1435) | 1430/1505 | 1375/1450 (1410/1485) |
| 積載量(DIN) | kg | 625 | 615 | 620 |
| 許容総重量 | kg | 1870 (1910) | 1970 | 1920 (1955) |
| 許容アックスル荷重 フロント/リヤ | kg | 970/930 (1015/930) | 1060/930 | 1005/930 (1060/930) |
| 許容牽引荷重(12%) ブレーキ付き/ブレーキなし | kg | 1300/695 | 1500/750 | 1300/725 |
| 許容ルーフ積載荷重/許容サポート荷重 | kg | 75/75 | 75/75 | 75/75 |
| ラゲージ・ルーム容量 | リッター | 468-1510 | 468-1510 | 468-1510 |
| 空気抵抗 | $c_d \times A$ | 0.26×2.40 | 0.29×2.40 | 0.27×2.40 |
| エンジン | | | | |
| 型式/気筒数/バルブ数 | | R/4/4 | R/4/4 | R/4/4 |
| エンジン・テクノロジー | | BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー: ツイン・スクロール・ターボ・チャージャー、高精度ダイレクト・インジェクション | | BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー: 可変インテーク・ジオメトリー・ターボ・チャージャー、コモン レール・ダイレクト・インジェクション |
| 排気量 | cc | 1499 | 1998 | 1995 |
| ストローク/ボア | mm | 94.6/82.0 | 94.6/82.0 | 90.0/84.0 |
| 圧縮比 | :1 | 11.0 | 10.2 | 16.5 |
| 燃料 | | RON 91 以上 | RON 91 以上 | 軽油 |
| 最高出力 | kW/ps | 100/136 | 170/231 | 110/150 |
| 発生エンジン回転数 | rpm | 4400 | 5000 | 4000 |
| 最大トルク | Nm | 220 | 350 | 330 |
| 発生エンジン回転数 | rpm | 1250-4300 | 1250-4500 | 1750-2250 |
| 電気システム | | | | |
| バッテリー/取付け位置 | Ah/- | 70/エンジン・ルーム | 80/エンジン・ルーム | 80/エンジン・ルーム |
| オルタネーター | A/W | 150/2100 | 150/2100 | 150/2100 |
| ドライビング・ダイナミクスと安全性 | | | | |
| フロント・サスペンション | | シングル・ジョイント・スプリング・ストラット式アックスル、アルミ/スチール併用軽量構造 | | |
| リヤ・サスペンション | | マルチ・リンク・アックスル、スチール製軽量構造 | | |
| フロント・ブレーキ | | シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ/ベンチレーテッド | | |
| リヤ・ブレーキ | | シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ | シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ | シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ |
| 走行安定化システム | | 標準装備: ABS および DTC(ダイナミック・トラクション・コントロール)を統合した DSC、コーナリング・ブレーキ・コントロール CBC、ブレーキ・アシスタント DBC、ブレーキ・ドライグ機能、フェード補正、発進アシスト、 | | |
| 安全装備 | | 標準装備: フロント・エアバッグ(運転席/助手席)、サイド・エアバッグ(運転席/助手席)、ヘッド・エアバッグ(フロント/リヤ)、3点式 ELR オートマチック・シートベルト(全席。前席シートベルトはベルト・ストッパー、ベルト・テンショナーとベルト・フォース・リミッター付き) | | |
| ステアリング | | 電気機械式ラック&ピニオン・パワー・ステアリング(EPS)、オプション装備: サーボトロニック | | |
| ステアリング総変速比 | :1 | 15.7 | 15.7 | 15.7 |
| タイヤ フロント/リヤ | | 205/60 R16 92V | 205/55 R17 91W | 205/60 R16 92V |
| ホイール フロント/リヤ | | 7.0J x 16 | 7.5J x 17 アロイ | 7.0J x 16 アロイ |

| | | BMW 218i アクティブ・ツアラ | BMW 225i アクティブ・ツアラ | BMW 218d アクティブ・ツアラ |
|------------------------------------|---|--|---------------------------|--|
| トランスミッション | | | | |
| トランスミッション型式 | | 6 速マニュアル・トランスミッション(オプション: 6 速ステップ ロニック・トランスミッション) | 8 速ステップロニック・トラン スミッション | 6 速マニュアル・トランスミッ ション(オプション: 8 速ス テップロニック・トランスミッ ション) |
| ギヤ比 | 1 | :1 3.615 (4.459) | 5.250 | 3.923 (5.250) |
| | 2 | :1 1.952 (2.508) | 3.029 | 2.136 (3.029) |
| | 3 | :1 1.241 (1.556) | 1.950 | 1.276 (1.950) |
| | 4 | :1 0.969 (1.142) | 1.457 | 0.921 (1.457) |
| | 5 | :1 0.806 (0.851) | 1.221 | 0.756 (1.221) |
| | 6 | :1 0.683 (0.672) | 1.000 | 0.628 (1.000) |
| | 7 | :1 ---- (----) | 0.809 | ---- (0.809) |
| | 8 | :1 ---- (----) | 0.673 | ---- (0.673) |
| | R | :1 3.538 (3.185) | 4.015 | 3.538 (4.015) |
| 最終減速比 | | :1 3.882 (3.944) | 3.075 | 3.389 (2.839) |
| 走行性能 | | | | |
| パワー・ウェイト・レシオ | kg/kW | 13.2 (13.6) | 8.4 | 12.5 (12.8) |
| リッターあたり出力 | kW/リッター | 66.7 | 85.1 | 55.1 |
| 加速性能 | 0-100km/h 秒 | 9.2 (9.2) | 6.8 | 8.9 (8.9) |
| | 0-1,000m 秒 | ³⁾ | ³⁾ | ³⁾ |
| 4 速／5 速 | 80-120km/h 秒 | 10.5(-) | (-) | 9.1(-) |
| 最高速度 | km/h | 205 (205) | 240 | 208 (210) |
| BMW EfficientDynamics | | | | |
| BMW EfficientDynamics 対策 (標準装備) | ブレーキ・エネルギー回生システム、エレクトリック・パワー・ステアリング、オート・スタート・ ストップ機能、シフト・ポイント・インジケーター(マニュアル・トランスミッション車)、ECO PRO モード、インテリジェント・ライトウェイト構造、オンデマンド制御の補機類、分離クラッ チ付きエア・コンディショナー・コンプレッサー、特性マップ制御式オイル・ポンプ、低転がり 抵抗タイヤ | | | |
| EU テスト・サイクルでの燃費 ²⁾ | | | | |
| 標準タイヤ装着: | | | | |
| 市街地 | リッター／100km | 6.4-6.1 (6.5-6.3) | 7.6-7.4 | 5.1-4.8 (4.9-4.7) |
| 郊外 | リッター／100km | 4.5-4.3 (4.6-4.4) | 5.1-4.9 | 3.9-3.7 (4.0-3.8) |
| 合計 | リッター／100km | 5.2-4.9 (5.3-5.1) | 6.0-5.8 | 4.3-4.1 (4.3-4.1) |
| CO ₂ 排出量 | g/km | 120-115 (124-119) | 139-135 | 114-109 (114-109) |
| 排ガス基準 | | EU6 | EU6 | EU6 |
| 保険等級 | | | | |
| KH/VK/TK | | ³⁾ | ³⁾ | ³⁾ |

本主要諸元は ACEA (欧州自動車工業会) 市場に適用/登録関連の一部データはドイツにのみ適用 (重量)
括弧内の数値はオートマチック・トランスミッション車のもの

- ¹⁾ オイル交換量
²⁾ 燃費および CO₂ 排出量は装着したタイヤのサイズによって異なる
³⁾ 本諸元作成時においてデータ未発表